

しんとつかわ

# 議会だより

No.101

2024.5

HOKKAIDO SHINTOTSUKAWA TOWN



ご入園おめでとうございます (新十津川保育園入園式)

特集

## 議員座談会 ～新人議員が過ごした地方議会～

2

- 定例会・臨時会レポート  
審議結果報告 ..... 4  
予算審査注目事業 ..... 6  
予算審査質疑応答 ..... 8
- ずばり町政を問う! ..... 10
- 委員会トピックス ..... 12
- 情報発信 ..... 14  
まちかどインタビュー  
議会ミニニュース ほか

# 新人議員が過ごした地方議会

議員になって約1年が経ちました。今期初当選の議員5人が1年間を振り返って語り合った内容の一部を紹介し、まゆ。ぜひご覧ください。

議員になる前と現在で、議員活動のイメージはどのように変わりましたか？

**深瀬** 議員活動のイメージって、議会の定例会に出て議決するという印象が強かったのですが、その日程さえ押さえれば議会の仕事はできると勘違いしていました。

また、議員として人に会ってお話して、「町がこう変わったらい」と言う活動をやるのかと思っていたら、委員会の資料調整の前段から何回も集まって検討する作業があり、事務仕事に追われて忙しかったというイメージが強かったです。

**工藤** 議員活動は、定例会や臨時会、その後の勉強会だけと考えていましたが、かたるベサロンなどの議会の広聴活動や、役場公式行事の他に、花月区の行事もあり、想像以上の稼働日数で驚きました。

花月区は、もともと100年くらい前に分村という動きがあったせい、議員、区長と地域の方との結びつきってというのが非常に強い傾向があるんですよね。

ですから地元の恒例行事やすまいるあつななどにもなるべく出席させていただいています。

**大島** 今までわかっていたつもりの方が、携わるうちにまだまだ勉強不足だったと気付かされました。今後町民の皆さまと会話を通じてもっとより良い町になっていくように行政とも協力して「対話」していきたいです。

また、私は議員になる前から多くのイベントや会議等に参加させてもらっていたので、今のところそこまでギャップは感じていません。ですが、年度当初に配付された年間予定表以外にも、あとから急に1〜2時間の会合が入ってくることも多いなと感じます。それでもこうして議会の仕事ができるのは家族や職場の方の協力があるからこそなので、感謝しています。

**加藤** 2月3月はほぼ週4日くらいで会議があったりしましたね。

**三師** 正直なところ議員になる前は、議員がどんな活動をしているのか全然知りませんでした。いち町民として自営業と子育てに追われ余裕もなく定例会も見に行けたことがなければ、議会だよりも気になるところしか見えない状態でした。

そんな中で自分が議員になってみて、こん



深瀬議員



三師議員

なに忙しいのか！と思うほど会議や視察、勉強会、広報広聴活動がありました。地域の行事に来賓として呼んで頂ける機会も多く、活動の一つ一つが貴重な学びの時間でした。

ただ、「明後日のこの時間に会議をやります」ということもあり、子どもの休みにどこかに行く予定もなかなか立てられず、スケジュール管理が一番難しかったです。

**加藤** 私は議会事務局の立場から見ただけ分もあつたのでそれなりに覚悟していました。が、議会だよりの作成やその他の取り組みなど、実際にやってみるとずっと大変だったなと思えました。また、議員の活動については呼んで頂ける行事が予想以上にたくさんあって非常に驚きましたし、業務スケジュールを自分で調整することがいかに大変なのかを思い知らされました。

議員活動に費やす時間について、経験によって変化はありましたか？

**工藤** 約20年間、パソコン操作をする仕事を



大島議員

しておらず、最近はやっと少し慣れてきました。また、イベント参加のノウハウも理解できるようになりました。

**深瀬** 最初は右も左も分からず何をしようか分からなかったのですが、あまり時間を要しませんでした。今はいくら時間があっても足りないと感じています。災害、事故、少子化、新しい政策…様々なことを学び、他のどこでもない、「新十津川町」にとつての1番は何なのか。最適解を見つけることは一朝一夕では難しいと思います。特に私は道外から移住しているので、学ぶことが多いと感じています。

**大島** 資料を作るなど、パソコンに向かう時間はかなり増えました。

あと今までお会いするごとのなかった方々と会う時間が増え、さまざまなお話を聞く時間が増えました。お話ができ、その中で伺った内容を議員の皆さんと共有して、議会を通じて、もっと反映できるようこれからも活動していきたいと考えております。そのためにも、町民の皆さまと話す時間をもっと増やしていかなければならないなと感じています。

**加藤** 私は今年度は議員としての活動よりも、



工藤議員

議会の活動、体制づくりにチカラが入っていました。今年は議員としての仕事にもチカラを入れていきたいと思っています。取り組むほど、視界がクリアになって、向き合わなければならぬ問題が見えてきたと思います。議員の皆さんともっと相談する時間を作れたらと思います。議会としての取り組み方や議会のルールの見直しについても議員の皆さんで考えたいところです。

**三師** 年に4回の定例会に向けてその都度、委員会の勉強会を開催し、各課から頂いた資料の読み返しや疑問点の絞り直しを行うようになりました。中でも、予算・決算審査特別委員会に向け、予算書・決算書を頂いたときには、時間が全然足りないと感じるほど勉強することが多く必死でした。予算審査については、勉強の仕方が少しわかってきたので、そこに掛ける時間は増えたなと思いました。

また、若い世代の人が、「誰に相談したらいいのかわからないからとりあえず来ました」と声を掛けてくれることがあって、「議員をやったよかったな、この人たちのために役立つ動きが出来るようにならなきゃな」と思っています。

**加藤** 質問の回答についてまとめると、議員活動に費やす時間は、やり方が分かって効率を上げることによって短縮できた部分ではありますが、それ以上に取り組むべきものが見えてきて、費やす時間が増えている、というところかなと思います。

### さらに議会や議員活動を充実、強化していくには何が必要だと思えますか？

**加藤** 新人議員の研修機会、学びの場を充実させる必要があると思います。最初の勉強会の内容には、物足りなさや違和感を抱きました。議会や委員会の権限や運営についての学習が不足していると感じます。必要だと思つのは次の3点です。

- ①議会が有する権限や機能について議員全員で改めて学ぶ。
- ②本来あるべき議会の姿の実現に向けて、「議会の常識」や「暗黙の了解」といったルール、先例の見直し、必要に応じた改善を行う。
- ③議会権限を正しく行使する。

「我々議員がどのような議会を作りたいのか」という目標を明確にする必要があると思つております。

**深瀬** 議会の事をよくわかっていない状態の人が選挙に出ることを良くするのであれば、入り口となる研修はもっと柔らかいものの方がいいかもしれないし、それとも、もっと議会について知っている人へ選挙に出てもうようにする方がいいのか、など来期の選挙に向けて現職の議員で考えていくべきことはたくさんあるなと思います。

私個人の議員活動で言いますと、まずは時間の確保が必要です。「町の事を知る」「議案と向き合う」両方の時間を確保し、しっかりと向き合えて初めて議員としての職責が果たせるようになると思っています。議会活動については、現在、議会活動基本計画に沿って活動を行っています。日々忙しく感じますが、この計画に基づく活動を怠らせずに進めていけば、強化されていくと思えます。

**工藤** 幅広く情報を得るために、新聞や雑誌等で学習することや、町民の皆さまからの生の情報収集が必要であると考えます。町（行



加藤議員

政)の情報も幅広く仕入れておく必要があると思います。

**三師** 一度の委員会で受け渡される情報量が大なので、その前後の政策協議の時間がとても重要なんだなと感じました。町を良くする、町づくりに関わるなかで、これを継続的に話し合っていくことが大事だと思っています。

また、議会モニターワークショップの長内講師が仰っていたように、議員の人となりを知ってもらうことも大事だと思っていて、住民の視点で見たときに、どんな人かわからない人に相談しようかなという気持ちにはならないと思つてます。

なので、広報広聴活動の中で、その議員がどういう人で、どういった仕事をしているのかを知ってもらうことで、議会にも興味を持ってもらうことで、それが、行政に興味を持つきっかけになり、自分の住んでいる町はどついつまちなのかな」と思

うことで、住民が参画しやすい環境になつてい



くのでは。その流れを作っていくのが大事ななと思えました。

**大畠** 議会や町づくりに対して思うことがある住民の方は、本当はまだまだかなのいると思います。しかし、タイミングが合わないとかで声を上げられていないのだと思つので、幅広く意見を吸い上げられてはいないと思つています。

住民の声を聴いていないばかりに、住民の思いとか離れてしまつては困るので、これまで以上に幅広い年代、立場の方から、一つでも多くの意見を聞くためにどついたらいいかを模索していくことが、今後のテーマだと考えています。また、自身の発信作業も上手くできていなかったため、そちらも充実出来るよう努力していきたいと考えています。

**加藤** 聞ける声が多数派とは限らないので、注意しなければならぬと思います。

あと、声を上げると周りから白い目で見られる、という話もあるみたいなので、気を使わずにいろいろ声を届けていただけると環境が一番だと思つてはいますが、そんなすべは変えられないと思つので、あまり周りの目を気にせずに意見できるような仕組みを、まず作っていきなと思っています。こちらでも非常に大切なことだと思えます。

5人の議員の話は多方面に及び、あつという間に過ぎた2時間でした。

今後も新しい議員が生まれていくかどうかは、今期の議会ですべて環境を整えることができるのかかかっていると思つていますし、「住民の皆さまがどんな議会を求められているか」ともポイントになると思っています。

新十津川町にとって望ましい議会の在り方について、住民の皆さまと一緒に検討していきますので、どうぞよろしくお願いたします。

## ◆ 令和6年1月24日 令和6年第1回臨時会

### 議案第1号 新十津川町手数料徴収条例の一部改正について

戸籍法の改正により追加となった新たなサービスの手数料を設定する改正。既存サービスの手数料の変更はなし。新たなサービスは次のとおり。

- ①本籍地以外の自治体でも戸籍謄本や除籍謄本の取得が可能となる。
- ②他の行政機関での手続きに添付する戸籍の電子証明書を発行するための識別符号の発行が可能となる。
- ③スキャンした届出等の画像情報の証明書を交付・閲覧することが可能となる。

### 議案第2号 令和5年度新十津川町一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出にそれぞれ5931万円を追加し、総額を71億4220万1千円とする。  
主に国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業について補正した。

- 社会福祉施設等物価高騰対策事業 798万2千円  
物価高騰の影響を受ける医療、介護、保育、障害施設等の事業運営を支援するため、予算の範囲内で支援金を交付する。
- 低所得者支援臨時給付金支援事業 198万2千円（事務費分。給付分は令和6年度当初予算で計上）  
国の低所得者支援及び定額減税を補足する臨時給付として、定額減税の実施と併せて給付を実施する。
  - 住民税均等割のみ課税世帯への給付 1世帯当たり10万円
  - 住民税所得割が課税されていない世帯で18歳以下の子を養育する世帯への加算 児童一人当たり5万円
- 肥料価格高騰緊急対策事業 790万円  
肥料等農業資材価格の高騰により大きな影響を受けている農業者に対し支援を行う。
- 緊急経済対策事業 890万円  
物価高騰による中小企業等の事業活動への影響を緩和するため、町内の中小企業や個人事業主に対し商工会を通じて支援を行う。

## ◆ 令和6年3月7日～15日 令和6年第1回定例会

### 議案第4号 新十津川町不妊治療費の助成に関する条例の一部改正について

医療保険対象外の先進医療として実施される不妊治療を助成対象に追加し、不妊治療を受けている夫婦の経済的負担のさらなる軽減を図る。

《追加の助成》

区 分	先進医療技術による不妊治療
対象となる治療内容	令和5年4月1日以降に治療開始し、医療保険適用の不妊治療と併用して実施した先進医療
助 成 額	治療費自己負担額の7割の額
助 成 上 限 額	3万5千円
助 成 回 数 の 限 度	初回治療開始日の妻の年齢が40歳未満→43歳に達するまで通算最大6回 // 妻の年齢が40歳以上43歳未満→43歳に達するまで通算最大3回

## 議案第5号 令和5年度新十津川町一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出にそれぞれ6194万2千円を追加し、総額を72億414万3千円とする。大半は実績見込みによる補正。

## ●北海道応援大使事業 △106万1千円

日本ハムファイターズのヒーローショーや2回の地元応援PRツアーは予定どおり実施した。一方、選手との交流会は小学校が臨時休校となったため実施できなかった。また、住民との交流会も開催できず減額した。

注  
目  
！

## ●保育所広域入所負担金 154万7千円

町外の保育所を利用する児童に係る経費。当初は4人24か月分を見込んでいたが、新十津川保育園への入園を希望する転入児童が多くおり、やむなく町外の保育所を利用する児童数の見込みが6人30か月分になったことによる増額。

## ●ピンネ農業公社運営負担金 560万円

昨年夏の異常高温による収穫量の減や、人件費や資材等の物価高騰により予想を超えてピンネ農業公社の収益が悪化し、約800万円の損失が見込まれることになったことから、本町の運営費負担割合である7割分を負担するため増額。

## 議案第11号 新十津川町除雪サービス事業に関する条例の一部改正について

この事業の目的を明確化するため、条例名を「新十津川町除雪困難世帯生活通路等除雪支援事業に関する条例」に改めるほか、対象世帯の要件を拡充し、より多くの方の緊急時における避難通路を確保する。

また、冬期間の生活環境を確保するため除雪費用を助成する「高齢者世帯等除雪費助成事業」についても、対象とする世帯の要件を拡充することとしている。



## 議案第12号 新十津川町ふるさと公園屋外体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

ふるさと公園テニスコートを老朽化に伴い廃止する。その後は更地にし、適切に管理する。

## 議案第14号～第17号

令和6年度の一般会計、2特別会計、1事業会計の予算については、6ページ、7ページをご覧ください。



## 議案第18号 新十津川町教育委員会教育長の任命について

久保田 純史 氏（再任）

（任期：令和6年5月8日から令和9年5月7日まで）

## 選挙第1号 新十津川町選挙管理委員及び新十津川町選挙管理委員補充員の選挙について

（選挙管理委員） 吉田 涼一、十河 真由美、続木 真由美、本庄 政夫

（補充員と順序） 1位 齋藤 信也、2位 橋本 賢明、3位 中村 範孝、4位 側 哲博（敬称略）

# ここに注目！

●一般会計

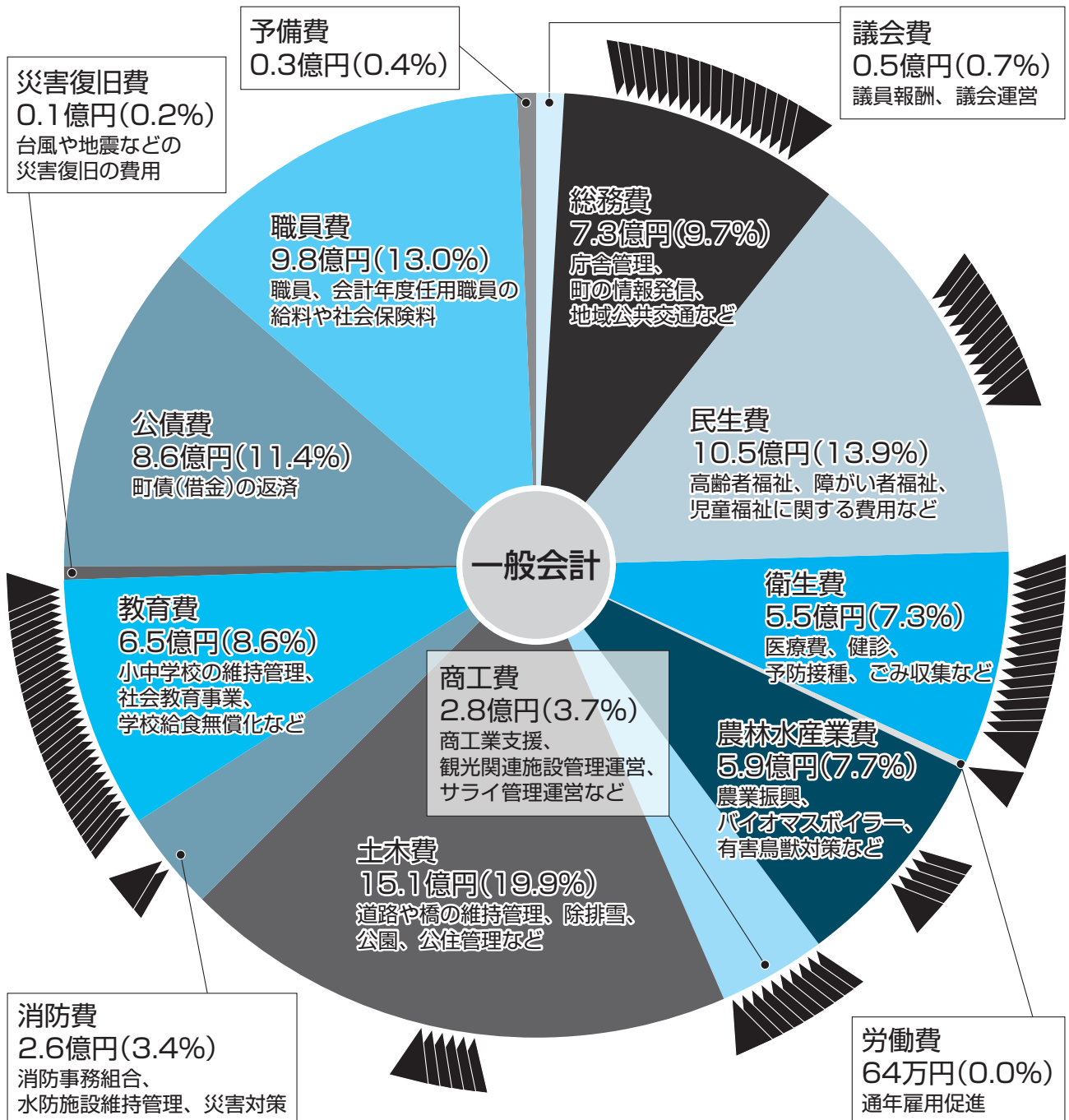
## 75億5483万円

(前年比7億6682万円増)

- 国民健康保険特別会計 2億4960万7千円
- 後期高齢者医療特別会計 1億3775万3千円
- 下水道事業会計 2億6002万6千円

3月11日から15日まで開催された予算審査特別委員会で、令和6年度の一般会計、2特別会計及び下水道事業会計の予算案並びに関連議案を審議しました。

▼…予算審査で各委員が質問したところ



# 注目事業の内容はコチラ！

## ドローンの まちづくり事業

1億1793万円

### プロジェクト2年目！ 本格的な実証が始まる！

ドローンスクールの本格稼働による人材育成、飛行テストコース設置による技術開発、買い物代行サービスの実証、観光コンテンツ開発を行う。



#### 議会の視点、注目点

買い物代行サービスについては、買い物弱者の支援に十分な効果が見込めるか、特に利用料はどの程度になるか。また、住民が「ドローンは町の魅力である」と感じられるかどうか。議会としても引き続き注目して参ります。

## 観光PR推進事業

719万円

### 町内周遊で町の魅力を再発見！

ふるさと公園でのイベント開催費用を助成するほか、観光情報誌やテレビCMによってふるさと公園をPRする。また、新たにレンタル用の電動自転車を10台配置し、ふるさと公園と市街地を周遊してもらうことで、町の魅力を体感的に知っていただく。



#### 議会の視点、注目点

令和4年度に再整備したサイクリングロードも活用されるよう、サイクリングモデルコースも検討すること。

宿泊施設を利用した方が、市街地の中やコース途中にある町の魅力に気付くきっかけになることを期待します。

## ～環境の整備に関する予算～

○行政区活動支援事業 2737万円  
地域の活動拠点である行政区会館にエアコンを設置する費用を全額町が支援する。

○除雪機械購入事業 1億1153万円  
除雪ドーザ、ミニロータリを各1台増車する。

○公営住宅建設事業 4億1618万円  
新しいさくら団地全4棟20戸のうち、2棟10戸を建設する。梁や柱には町有林の木材を使用する。

○図書館空調設備整備事業 4905万円  
読書環境の向上のため、図書館にエアコンを設置する。

○そっち岳スキー場管理運営事業 7016万円  
令和6年度から2年間でリフト等の設備改修を行う。

## 地域公共交通 確保事業

3134万円

### 次年度以降の運行体制の整理！

令和4年度から新たな体系となって3年目となることから、地域公共交通活性化協議会とともに、実績等の検証と令和7年度以降の運行体制の整理を行う。



#### 議会の視点、注目点

運転免許証の自主返納者に対し、令和6年度からとくとつポイントや公共交通回数券を交付することにしたため、公共交通の充実がますます求められる状況にあります。どう取り組んでいくのか。

また、運行費用は2200万円から3000万円に上がっているため費用対効果を高める必要もあります。

# 令和6年度 予算審査質疑応答

予算審査特別委員会では、100を超える質疑が行われました。

ここでは主な内容を紹介します。



予算審査特別委員会 委員長 鈴井康裕

## 総務費

### 情報発信事業

スマートフォンのLINEアンケートの回答にポイントを付与する事業を行うとのことだが、アンケートの内容と活用方法は。

### 西内議員

例えば、「町の広報は縦書きが良いか、横書きが良いか。」など軽微な内容を想定している。  
昨年度末の町民アンケートでは約半数がウェブで回答いただいており、即時性を考えて導入する。  
回答は、場合によって公表していきたい。

## 総務費

### ふるさと応援寄附金推進事業

ふるさと納税の業務で専門の業者に委託する内容とは何か。

### 大島議員

返礼品受付サイト等でのPR方法の強化、コラボ返礼品の開発、経費削減に向け、プロのノウハウで取り組んでもらう。なお、経費削減のために返礼品提供事業者の利益を下げるようなやり方はせず、彼らと協議しながら進める業者を選定する。

## 民生費

### 総合健康福祉センター管理運営事務

ホール等管理運営業務の委託料が前年比600万円以上増えている理由は何か。体制が変わるのか。

### 加藤議員

令和6年度からは1人増やし、2人体制でゆめりあの管理運営を行うことにする。

## 民生費

### 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業

給付金の手続きは郵送と聞いているが、申請や回答が無い場合の対応はどうなるのか。申請の期限はあるのか？

### 杉本議員

保健福祉課から勧奨を行うが、それでも期限内に申請手続きがされない場合は、給付はしない。

## 民生費

### 新十津川保育園管理運営事業

登園管理システムやタブレット端末の活用方法について詳しく聞きたい。タブレットは1人1台の利用なのか。

### 加藤議員

出席確認や指導案、日誌の作成、園児の発達記録の登録のほか、保護者との連絡や職員の間接管理も可能となっている。タブレットは教室に1台ずつ設置する予定である。

## 衛生費

### ゼロカーボン推進事業

啓発イベントの開催にあたり、実行委員会を立ち上げることだが、実行委員会のメンバー構成は。

### 大島議員

農業・商工業・学校関係者など幅広く募って構成したいと考えている。

## 衛生費

### ゼロカーボン推進事業

子どもたちに向けた学習会の内容について令和6年度は何を予定しているか。

### 三師議員

つづき子どもゆめクラブと調整しており、開講式に合わせ、環境に関する学習会を実施予定。小中学校の授業でも令和5年度と同様に開催できないか調整中。実行委員会で実施予定のフェスタにも小学生を対象としたものを盛り込んでいきたいと考えている。

## 衛生費

### がん検診事業

「30代乳がん検診事業」の表記が予算書から消えているが、実施年ではないということか。

### 三師議員

がん検診事業と乳がん検診事業と分けて計上しているが、令和6年度から一括計上し、引きつづき実施する。

## 農林水産業費

中山間地域等直接支払交付金

中山間地域の対象となる10集落とはどこか。

【答】大和・里見・文京・北花月・樺戸・南花月・上総進・総進・学園・吉野幌加の10集落

## 商工費

観光PR推進事業

レクタイルについて。今後、市街地にも設置するなど観光客の利便性を高めるように進める考えはあるか。

【答】当初は役場に設置することを計画したが、乗り捨て方式や設置台数、受付方法など課題があるため、まずはふるさと公園から始めることにした。

## 土木費

冬期除排雪事業

「よりよい克雪の在り方を地域の皆さんと話し合う場」について、参集範囲などの具体的なイメージは。区長だけ、特定の団体だけとなっていないか。

【答】住民、受注者、発注者が集まり、除排雪についての課題を話しあう場をつくる。旭川、帯広、北見などで導入しており、旭川を視察した。参集範囲はこれから検討だが、区長だけでなく町内会長などある程度広く設定したい。

## 教育費

中学校教育推進事業

小学校費の中には、「学校適応指導教室負担金」として、長期欠席者が学校復帰への支援を受けるための施設への負担金が計上されているが、中学校費には計上されていない。中学生には別の対策や支援があるのか。

【答】小学校費の方で中学生分もまとめて負担している。滝川市にある「ふれあいルーム」という施設が対象で、小学生の希望者が利用可能となっている。

## 教育費

社会体育推進活動事業

部活動の地域移行について、進捗はどのようになっているか？

【答】中学校の休日の部活動は、令和6、7年度を、地域に移行するための集中改革年度と位置づけ、8年度の早い時期に地域に移行したい。5年度は町内のスポーツ少年団の指導者との意見交換とアンケート調査を行った。6年度には、小学5年生から中学生までとその保護者や教職員に対してアンケートを行い、結果を受けて進め方を検討する。

## 農林水産業費

畜産振興協議会補助金

優良血統牛を増産する取り組みについて、具体的な目標値はあるか。また、増産への支援は、令和6年度限りか。

【答】目標頭数は設けていないが、優良な品種を沢山産んでもらい新十津川町内に雌牛、経産牛として残して頂きたいと考えている。事業の年限は決めていない。一定程度増えるまでは継続して助成していく。

## 商工費

観光PR推進事業

民間ツアー誘致助成において、町長がガイドを務める観光ツアーを企画しているとのことだが、どのような内容で開催予定か。

【答】現在、開催する事が決まっただけの状態で、ツアーを受託する会社もまだ決まっていない。これから業者を選定していく。歴史や町の特産品についてガイドするような内容で考えている。

## 土木費

河川緊急浚渫事業

5か年計画事業であるが令和6年度ですべて終了か。令和2年度から現在まで、大雨等の影響で新たに浚渫作業が必要になるような河川はないか。

【答】計画どおりに終了した。令和2年度以降にも大雨等で土砂が堆積した河川はあると思うがまだ問題ないと思う。この事業は続けたいが、有利な起債を財源に行っており令和6年度までとなっている。土砂上げや伐採をしたい箇所はあるので、これが延長されるのであれば新たに計画したい。

## 教育費

開拓記念館管理運営事業

開拓記念館には、近年の町の取り組みについて知ることが出来る展示がない。来館者に新十津川の「今」も知ってもらえるような展示内容に変えたり、検討する団体のようなものはあるか。

【答】展示物の内容などを見直す機はない。受付業務を委託しているとお子どもゆめくらぶで、展示物以外の貯蔵物の整理や展示物の入れ替えを行っている。

## 教育費

スポーツ体験学習推進事業

少年団が自主的に実施する教室への負担金20万円について何団体分を予定しているのか。開催希望が多くなった場合はどのような対応になるのか。

【答】10万円×2団体で予定。年度当初のスポーツ少年団本部会議で各団体に開催希望を確認し調整している。これまでのところ、予算を超える開催希望はなかった。想定を超える希望があれば、実績を考慮して調整を行い、場合によっては翌年に振り替える。

# ずばり町政を問う！



一般質問とは、年に4回ある定例会において、議員が町長や教育長に対し、町の施策の状況や方針、課題などについて直接質問することです。

令和6年第1回定例議会では、6人が7件の一般質問を行いました。

## 在宅高齢者等生活支援機器購入費助成事業の拡大が必要では？

**町長** 周知の強化に加え、対象機器や助成対象者の拡大を検討する。

**問** 「在宅高齢者等生活支援機器購入費助成事業に関する条例」は、在宅高齢者等の福祉の増進を目的としており、助成対象機器を「セラピー人形」「電動起立補助座椅子」「階段昇降機」「電話防犯機器」の4種類に限定している。利用実績は「階段昇降機」1件。「電話防犯機器」1件のみである。

**答** 利用の少なさの要因をどう捉えているか。事業の周知方法は、利用がなかった「セラピー人形」は使用者または家族、福祉施設職員に一定の評価を得たので助成品目とした。認知症の方の暴言の抑止や徘徊の改善、介助者の見守りの負担軽減になるとの研究成果もあるので、その効果を伝えていく。周知については、広報誌への掲載や福祉フェアでのチラシ配

**問** 布のほか、行政区にチラシを回覧した。助成品目は、介護者の負担軽減が目的になっていないか。本人のための機器を追加する考えは。

**答** 目的に沿った事業効果が見込まれるのであれば追加するなど内容を検討していく。議員が挙げた集音器や骨伝導イヤホンも品目の一つとして考えていきたい。

**問** 助成対象者の要件緩和は。

**答** 対象区分や対象品目と併せて検討していきたい。



西内 陽美 議員

## 保育園の待機児童や放課後児童クラブの受け入れについての今後の方針は？

**町長** 人材確保支援は継続。令和6年度内に、施設の在り方を検討する。

**問** 保育園の次年度の待機児童は0歳児で1名。一時保育サービスも対象クラスによっては利用できない状況である。放課後児童クラブでも定員40名に対し、応募は69名、3年生以上に待機児童が発生している。

**答** 子育て世帯の転入が多く、児童数の増加が見込まれる中、どのように待機児童問題の解決を目指すのか。

**問** 保育園については、労働環境整備のためのシステムの導入経費や、保育士1名分の人件費を支援する。もし保育士が追加されれば、年度内の待機児童は0となる見込みである。

**答** 放課後児童クラブについては、やむなく選考し、1、2年生を中心に57人の利用登録を受け付けた。待機児童は、運営を工夫していく中で対応が可能となれば、年度途中からでも受け入れたい。

**問** 待機児童解消には、人材確保と、中長期的な保育ニーズを的確に

**問** とらえた施設の在り方の両面から検討する必要がある。

**答** 放課後児童クラブは、トイレや手洗い場、ロッカー設備などの不足が指摘されている。また、体育館の使用に制限を受けている。施設の在り方については早急な対策を取るべきだと考えるが、町長の考えはどうか。

**問** 施設の在り方については次期「子ども子育て支援事業計画」の策定に間に合うよう、令和6年度中に評価・分析を行う。早い時期に解決できるように考えている。

**答** 施設の改修や増築工事は、子どもたちの利用中に行うのは難しい。安心して子どもを預けられる新しい施設が求められるのではないかとどこに建てるかなども含めて令和6年度内に検討する。



三師 優美 議員

## 旧商工会館や熱供給センターの耐震診断が必要ではないか？

**町長** 耐震基準は満たしていると考えられ、再診断は不要と判断する。

**問** 昭和60年に建設された旧商工会館は今年からドローンスクールとして活用されているが現在の耐震基準を満たしているのか。熱供給センターは大規模改修の後、構造計算が必要ではないのか。

**答** 旧商工会館は昭和60年に建造された鉄筋コンクリート造なので、昭和56年制定の新耐震基準を満たしていると考えている。

**問** 熱供給センターは建物全体にかかる機器類を含めた積載荷重や、地震力などの外力等を考慮して、設計段階で構造計算を行っているため、新たな計算は必要ないとする。

**答** 旧商工会館は1階が車庫と資材庫で北側に壁がない。平成12年の建築基準法にあるように耐久性を上げる耐力壁が必要では。熱供給センターは設計工期が終わってから、新たな外力が加

**問** わり事故につながったと思うが耐震性について問題はないのか。

**答** 平成12年改正は主に木造建築物に対するものであり、旧商工会館は該当しない。

**問** 熱供給センターは鉄骨架台を支えるアンカーを太くし、壁も10cmほど厚くしたので問題はない。震度3~4程度で全ての装置が停止するようになっているので耐震性も確保されている。

**答** 町の防災計画には「鉄筋コンクリート造であっても、年代が古い建物は耐震診断により耐震性を把握することができる」と記載されているが、必要性を感じないか。

**問** 法令にのっとっており、多額の費用も要するので行わない。



鈴井 康裕 議員

## 議員や特別職を対象に含めたハラスメント防止条例を制定するべきでは？

**町長** 議員は議員、特別職は特別職でそれぞれ検討すべき。

**問** 議会と行政が丸となってあらゆるハラスメントに対し毅然とした対応を示し、取り組むべきである。予防の意味を含めて、ハラスメント防止条例を制定する必要性は高いと考える。

**答** ハラスメント防止条例制定にむけて取り組む意思はあるか。近年、他の自治体で特別職によるハラスメントの事例が増えていることも踏まえ、制定について前向きに検討する考えである。ただし議員を対象にした条例は、二元代表制の趣旨から、議員発議による条例制定が適切だと考える。

**問** 既存の規程に実効性を持たせるには、幅広くハラスメントの禁止を促す「理念型の条例」と組み合わせ、町が率先して

複合的に取り組むことが重要ではないか。この理念型の条例制定について町長の考えは。

**答** そもそもハラスメントは、事業所内でのみ発生する行為であるため、ハラスメントを防止するのは雇用主である。長は雇用主で町職員が被雇用者という関係であり、その間でのみ取り組むべきと考えるので、大きな枠組みで考える「理念型の条例」の制定は考えてはいない。



大島 光敬 議員

## ゼロカーボンシティ宣言に基づく取り組みの具体的なイメージは？

**町長** もみ殻活用の事業化の調査や、環境に関する啓発イベントの開催など。

**問** 当町は令和5年度に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明した。「地域の活性化」を目指すためには、町民が手軽に、ゼロカーボンに向けた取り組みに参加できるイベントや項目を企画すべきと考えるが、町長の具体的な考えは。

**答** もみ殻活用による事業化の可能性を調査しており、これが民間活力による町内の産業や雇用の継続的な創出につながれば、持続可能な経済循環となり、地域の活性化が期待できると考える。また、環境イベントを通じて、町民への啓発や機運の醸成を図っていききたい。

脱炭素社会の実現に向けて、町民、事業者、団体等が一体となって取り組んでいけるよう執り進めたい。

**問** 農業を基幹産業とする本町において「食品ロス」など食や農産物に関する分野での循環型社会の形成に取り組む例示がなかった。この分野についてのプラン等があれば伺う。また、このような取り組みをする団体等への支援を行う考えは。

**答** 具体的なプランをあげるのは難しいが、廃棄物にかかるエネルギーの消費を抑えようとする取り組みに町民が関わることは有意義であり、ありがたく思う。取り組みについては、支援前提ではない形ですすめてもらいたい。ただ、団体等の取り組みについて声が上がってきた場合は、内容を精査し、同じ方向を向いて相互に協力していききたい。

## パートナーシップ制度の導入の考えは？

**町長** 制度の理解を深め、必要性を検討し、判断する。

**問** 「婚姻」に関連する現行の法制度では「同性間」や「非婚」のカップルには異性間と同等の法的保護が及んでいないという問題がある。多くの自治体でパートナーシップ制度を導入し声をあげ、同性婚導入の機運を高めていく必要がある。

また、当町に当該制度が導入されていないことで、町内に潜在しているカップルは社会的な配慮を受けることができない現状になっていることから、当町においてもパートナーシップ制度を導入するべきだと考えるが、町長の考えは。

**答** 本来は国において課題を整理し、適正な手続きを経て法整備がなされていくべきことである。故にこれまで町として導入の必要性を検討したことはなく、急いで導入する考えもない。今後、制度について理解を深め検討し、必要だと判断し

た場合は、円滑な導入が図られるよう執り進める。

**問** 国を動かすために地方から行動を起こす必要があると考える。当町に在住する当事者の方々は、既に様々な不利益を被っている状況にあることから早急に対応する必要があるのではないかと。

**答** 当町に当事者がいることは把握していなかった。町の実態も含めて調べ検討する。一方、診察室への同行などは医療機関との連携も必要であるから、他がどのような仕組みをとっているかも把握する必要がある。その上で導入について検討するため、時間をいただきたい。



加藤 敏晃 議員

## 新十津川町における外国人労働者の受け入れ環境の整備が必要では？

**町長** 受け入れ環境を整備する考えは無い。

**問** 当町の建設業や介護施設では、海外から「技能実習生」等として20人弱の外国人労働者が就労している。特に福祉施設では人手不足が問題になっている。ポストコロナ社会における外国人労働者の在留資格の多様化に関する実態調査・研究も全国各地の自治体で進められている。本町の外国人労働者が安心して働き、暮らすことができるように受け入れ環境の整備を図るべきだと思うが、町長の考えを伺う。

**答** 外国人労働者の受け入れ環境整備には、町で管理する公営住宅や町有住宅への優先的な入居などが考えられる。しかしながら、それぞれの用途や目的をもって運営している施設なので、外国人労働者を優先する考えはない。

また、担い手不足を解決する手立ての全てが、外国人労働者の雇用確保と受け入れ体制の整備であるとは考え難く、受け入れ環境整備の考えは無い。



工藤 健 議員

# 令和6年 委員会活動スタート

## 経済文教常任委員会



委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
西 内	鈴 井	工 藤	深 瀬 美 奈 子	大 畠 光 敬
陽 美	康 裕	健		

〈委員会構成〉

### 〈近況報告〉

常任委員会（2月22日開催）

調査事項 「新十津川小学校授業視察について」

授業を参観し、タブレット端末の活用状況を確認した。端末は、2年生以上の全員に1台ずつ貸し出しており、「GIGAスクールの実現、充実」に向けて整備を行っているとの説明を受けた。今後、もう少し掘り下げて視察を行うことも検討する。中学校の様子も視察したいと考えている。

報告事項 「新十津川町新規就農者技術修得センターの指定管理に係る指定期間の延長について」

（一財）ピンネ農業公社が指定管理者となり、平成31年4月1日から令和6年3月31日までの指定期間となっていたが、期間中の収支状況が芳しくなく、次期の指定管理者として「不可」との判断がなされた。改めて候補者を選定する時間的猶予がなかったため、現行の指定期間を1年延長し、令和6年度中に7年度以降の施設管理の在り方を検討するとのことだった。この件については、令和6年8月をめぐり、施設の管理方針の検討・協議を行い、当委員会へ報告されることになっている。

### 〈今後の方針〉

このほか、「令和6年度工事計画」「上徳富築堤の堤防整備」「令和6年産米の生産の目安」「地域おこし協力隊の活動状況（有害鳥獣駆除員）」「令和5年度全国体力・運動能力等調査結果」「文化スポーツ活動大会参加費助成金制度の一部改正」「そっち岳スキー場の整備計画」「学校給食センター調理等業務委託」などについて報告がありました。特に、さくら団地建設などの工事や改正された大会参加費助成金制度について注視していきたいと考えています。



## 総務民生常任委員会



委 員	委 員	委 員	副 委 員 長	委 員 長
西 内	樋 坂	杉 本	三 師	加 藤
陽 美	里 子	初 美	優 美	敏 晃

〈委員会構成〉

### 〈近況報告〉

常任委員会（2月19日開催）

報告事項① 「ドローンプロジェクトの進捗状況について」

令和5年度から3年間で取り組むドローンプロジェクトの進捗状況と今後の予定について説明を受けた。契約の締結が遅れたため今年度実施できなかった事業については、次年度以降に繰り越して着実に取り組んでいくことにしている。

雪まつり同日に開催したドローンフェスタは、今後人も多く集まるようなイベントで継続していく考えである。

令和6年1月に締結した「ドローンのまちづくり」に関する連携協定は、プロジェクト期間の終了後も継続したい意向であるため、町長の任期と同じ令和8年度までとしている。

報告事項② 「コンビニ交付サービス等の導入について」

令和7年1月から、住民票や印鑑証明を全国のコンビニ等で交付できるようにする。また、役場住民課窓口で各種証明書を発行する際に、キャッシュレス決済を利用できるようにするとの報告を受けた。

特にコンビニ交付サービスは、自分の都合のよいタイミングで証明書を取得することが可能となるため、利便性が非常に高まると期待できる。

### 〈今後の方針〉

令和6年度は次期の「子ども子育て支援事業計画」の策定業務が行われます。待機児童の解消に向けた施設の在り方についても検討されますので、積極的に関わっていきます。また、ゼロカーボンシティ宣言に基づく取り組みが、役場や行政区、事業者によって実施されます。地域経済の活性化や災害に対応する力の養成にも繋がりますので、皆さまぜひ一緒に参加してください。





QRコードを、スマートフォンなどのカメラで読み込むことで、各委員会の報告動画を視聴できます。

## 広報広聴常任委員会



〈委員会構成〉  
 委員長 深瀬美奈子  
 副委員長 工藤 健  
 委員 議員全員  
 (広聴班)

### 〈令和6年第1回定例会の一部をYoutubeで視聴できます！〉

定例会等の記録映像の試験配信を期間限定で行っています。

また、映像配信の本格導入に向けて、町民の皆さまのお声を募集しております。

映像の説明欄にアンケートフォームがありますので、ご協力よろしくお願いたします。

**配信期間：**令和6年4月8日から令和6年6月11日まで

**配信内容：**令和6年第1回定例会の議案の説明と一般質問。

**視聴方法：**映像は右のQRコードからご覧いただけます。

### 〈かたるベサロンニュースが引っ越しました〉

令和5年10月から毎月回覧していたかたるベサロンニュースは、議会だよりに引っ越しました。今後、かたるベサロン等で頂いたご意見や対応の一部を、こちらに掲載していきます。



ハラスメント条例について、議員に女性が増えたこともあり、セクハラやパワハラなどを防ぐためにも早期に実現してほしい。女性が活発に意見できる環境をしっかりと作ってほしい。  
 (10月18日かたるベサロンから)

(議会運営委員会より)

私たちの考えに賛同いただき、感謝申し上げます。早期に実現できるよう積極的に取り組む。内容の検討時には、ぜひ皆さまの参画をお願いする。  
 ※大島議員がこの件について一般質問をしました。  
 本誌P.11をご覧ください。



役場前の身障者用駐車スペースについて、既存の駐車スペースは正面玄関から少し離れている。屋根なしで1台分だけでいいので正面玄関に近い左前のスペースにも、身障者用の駐車スペースを設けていただきたい。  
 (10月18日かたるベサロンから)

(総務民生常任委員会より)

担当課に相談し、「まずは現在の身障者用スペースを活用していただきたい。利用が増え当該スペースが足りなくなった場合に、指定の場所への追加を検討する。」との回答だった。現状、正面玄関前スペースには大きな段差があり、身障者向けとしては不適切な造りとなっているため、改修費用も確認しながら検討する。

### 〈かたるベサロンの今後の予定〉

議員と気軽にお話しませんか？

- ・ 6月15日(出) 10:00~14:00 陶芸まつり会場内  
 (鈴木、西内、深瀬、工藤、杉本、加藤)
  - ・ 8月17日(出) 18:30~20:00 改善センターみらいえ (鈴木、樋坂、三師)
- 日程や参加議員は都合により変更になる場合がございます。  
 最新情報は町のホームページでご確認ください。



## まちかど インタビュー

このコーナーは、議員がまちの人をご紹介します。

今回は、  
加藤がインタビュー  
させていただきます。

今回ご紹介する方は…

**小林 寛之さん**です。

福島県白河市出身の32歳です。元々は某有名タイヤメーカーで品質管理などを行っていましたが、工場の点検でドローンに興味を持ち、資格を取得後、ドローンプロジェクトの関係で今年1月に移住して来られました。現在は認定インストラクターとして旧商工会館ORONZE PLUSにあるKDDIスマートドローンアカデミー新十津川校に勤務されています。



◎ 新十津川校への赴任のきっかけや、ドローンを生業にする  
と決めた理由をお聞かせください。

△ 会社の休みを利用して三重県伊勢市にあるドローンスクールで資格を取得していた際に、新十津川校開校のための人材募集があったことから、手を挙げました。前の会社を辞めるときは、会社や家内の実家からも引き留められましたが、ドローンの業界は全国でどんどん進んでおり、個人で思っていたより何年も先に進んでいると思いましたので、この世界に人より先に入っておきたいと思い、決めました。

◎ 新十津川町に住んでいかがですか？

△ 現在は車を持たずに生活していますが、スーパーやコンビニなどに徒歩で行けて、意外と不便していません。また、今は家族が住んでいる地元との二重生活なので出来るだけ経費を削りたいのですが、町内の方が気さくに相談に乗ってくれるので助かっています。単身赴任中は、町の方に沢山会いたいこともあり、焼き鳥の英ちゃんによくお世話になっています。

◎ 新十津川町議会への「意見や」感想があれば

△ 私の生まれ育った白河市では、議員と話す機会はなかつたです。同年代の議員も多く、ドローンをいち早く始めている町ということもあり、期待しています。町民の方にたくさん参加してもらってドローンへの理解や使い方が浸透していけば良いと思います。

### インタビューを終えて…

小林さんは、ドローンプロジェクトを通じて、私たちと一緒に町を盛り上げようとしてくださっている、とても素敵な仲間です。私は「焼き鳥英ちゃん」でとても一緒に、偶然にも同学年だとわかり仲良くなりました。とても気さくで話しやすい方なので、皆さんも小林さんをお見かけしたらぜひお声をかけください。小林さん、引き続きよろしくお願ひいたします。

## 議会ミニニュース



### 議会報告会を 開催しました

3月30日(土)に、議会報告会を開催しました。

報告内容は、「議会活動全般の振り返りと令和6年度の活動計画について」、「計画に基づく広報・広聴活動について」、「経済文教・総務民生常任委員会の所管テーマについて」でした。

後半の意見交換会では、「待機児童の問題を早々に解決してほしい」「議会活動にもっと町民を巻き込むべき」といったご意見をいただきました。

議会報告会の様子はYouTubeの新十津川町議会チャンネルからご覧いただけます。



### ●議会の開催予定

◎令和6年第2回定例会:6月12日(水)から14日(金)まで ※10:00開会  
※一般質問は12日(水)を予定  
※正式な日程につきましては、議会事務局へお問い合わせください。  
また、休会となる日があります。

インフォメーション  
information

過去の議会だよりや  
会議録を確認できます!

活動内容をタイムリー  
にお知らせします!

新十津川町ホームページ(町議会部分)

<http://www.town.shintotsukawa.lg.jp/hotnews/category/212.html>

新十津川町議会

facebook

<http://www.facebook.com/shintotsukawa.gikai/>

新十津川町議会

Instagram

<https://instagram.com/shintotsukawagikai?igshid=NTc4MTIwNjQ2YQ==>

